

Slovenia Monthly November 2020

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2020年12月10日



～11月の主なポイント～

- 内政：与党新スロベニア及び年金者党、党首選挙実施
- 外政：ヤンシャ首相、欧州理事会に出席、復興基金について協議
- 経済：国民議会、新型コロナ経済対策「コロナ・パッケージ」第6弾を可決
- 治安：国防費増額にかかる法案可決
- 社会：ガブロヴェツ・スロベニアオリンピック委員会会長の叙勲

松島大使の挨拶

11月13日に駐スロベニア大使としてリュブリャナに着任しました松島浩道です。前職は、昨年7月まで農林水産省で農林水産審議官を務め、日EU・EPAなどの貿易交渉を含め国際関係業務を担当していました。

日本とスロベニアの関係は、1992年の外交関係樹立以来、大変良好な友好関係が築かれています。

経済面でも、スロベニアの安定した経済、高い技術力、充実した交通インフラなどを背景にして、多くの日系企業が投資を拡大しており、間接投資を含めて日本の投資総額は3億6千万ユーロに上っています。

また、人的交流の面でも、アルプス山脈やアドリア海の美しい景観に対する観光人気が高まっており、2019年には、過去最高の5万5千人の邦人観光客が当地を訪問しました。留学生・研究者の交流、大学間交流、地方都市間交流、スポーツ交流なども活発に行われています。

まさに「順風満帆」と言って良い状況かと思えます。

しかし、本年秋以降、他のヨーロッパ諸国と同様、スロベニアにおいても新型コロナウイルスの感染者数が再拡大しており、様々な分野で厳しい感染防止のための措置が導入されたことから、市民活動や企業活動に深刻な影響が出ています。スロベニアは建国以来の最大級の試練に直面していると言って過言ではないでしょう。

大使館としては、在留邦人の皆様に対しまして、新型コロナ関連の最新情報をメールで日々提供したり、皆様からの様々な相談に迅速に対応することにより、在留邦人の皆様の生活や日系企業の活動が円滑に行われるよう支援して参りたいと考えています。

今年も残すところ後一か月余りとなってきましたが、2021年は東京オリンピック・パラリンピック大会が開催され、スロベニアからも多くのトップアスリートが日本を訪問します。

また、2021年の後半は、スロベニアが2004年にEUに加入して以来、二度目のEU議長国を務めることになっており、EU内におけるスロベニアのプレゼンスがさらに高まることと思えます。

まずは、この新型コロナ問題が早期に終息して、皆様の日常生活が平穏さを取り戻し、日系企業の企業活動が従前のように活発に行われるようになることを、心よりお祈りしています。

また、2022年は日・スロベニア外交関係樹立30周年という節目の年になります。これを契機に、両国の友好・親善関係をさら高めて参りたいと思っておりますので、この場を借りて、皆様のご支援・ご協力をお願いいたしまして、私の着任のご挨拶とさせていただきます。

2020年11月26日

スロベニア共和国駐劬特命全権大使 松島浩道



政治

【内政】

●諸聖人の日【1日】

パホル大統領は、リュブリャナ市コングレス広場にある「全ての戦争の犠牲者の記念碑」において、諸聖人の日の式典に出席した。本年の新型コロナウイルス流行により規模が縮小されて行われた式典には、ゾルッチ国民議会（下院）議長、コウシュツァ国家評議会（上院）議長、ポチヴァルシェク副首相兼経済開発大臣、グラヴァシュ・スロベニア軍参謀長及びユリッチ警察庁長官代理が参加した。戦争の犠牲者のための記念碑は、2016年、和解と団結の象徴として設置されて以来、諸聖人の日の式典の開催場所となっている。

●抗議集会参加者が警察と衝突【5日、12日】

5日、現政権及び政府による新型コロナウイルス対策に反対する者が中心となり抗議集会を開催し、約500名が集会に参加した。デモ参加者は暴徒化し、警官隊との間で衝突が発生した。警官隊、デモ参加者ともにけが人が発生し、逮捕者も出た。ヤンシャ首相をはじめ政府要人は、デモ隊による暴力を批判する声明を発表した。また、毎週金曜日に行われている自転車を使った平和的デモ主催者も、今回のデモ主催者「Anonymous Slovenia」が、マスク着用等の新型コロナ対策を無視し、暴力行為を煽動したため、今回のデモには参加しなかった。



(Photo: Nik Jevšnik/STA)

12日、国民議会内務委員会は、同事案について議論した。警察は、同委員会において、ソーシャルメディア上でデモの呼びかけが行われた後、情報収集を行い同抗議が暴力的となることが判明したと説明。警察によれば、当日は、最初の抗議者が午後4時20分に共和国広場に集まり、午後5時に花火装置の使用を開始、付近の地下鉄でいくつかのグループが衝突し警察への攻撃が始まったため、警察は抗議参加者を分散させたが、一部の参加者は午後8時30分まで市内中心部で抗議活動を継続した由。なお、リュブリャ

ナ警察は、プレスリリースにて、同デモ抗議において、警察はゴム弾を使用したと説明。ゴム弾は、通常、暴動鎮圧や抗議行動の分散に使用されるもので、スロベニアでは国が独立して以来初めての使用となる。警察は、暴徒に対する警察による武力の行使は状況に相応した対応であったと評価した。

●年金者党、オンライン投票で党首選を実施【13日】

連立与党の一角を担う年金者党（DeSUS）役員会は、当初11月28日に予定されていた党首選・副党首選をオンライン投票で実施することを決定した。オンライン投票は11月27日～12月1日の期間に実施され、結果は12月5日に発表予定。

●新スロベニア党首選、トニン党首が再選【26日】

17日からオンライン投票が行われた与党の新スロベニア（NSi）の党首選の結果が発表され、唯一の立候補者である現職のトニン党首が96%の得票率で再選した。再選にあたり、トニン党首は党員からの支持に謝意を表明するとともに、NSiがより大きく強い党となることでスロベニアはより成功した国となると述べ、同党は引き続きカトリック民主主義の価値に沿って、スロベニアの経済成長、社会的弱者への更なる配慮、多国間主義等を目指していくと述べた。

【外政】

●オーストリアでのテロ事件【2～4日】

2日に発生したオーストリアでのテロ事件を受け、ヤンシャ首相は、「イスラム過激主義は決して容認しない」とコメントし、また、パホル大統領はファン・デア・ベレン・オーストリア大統領に対し、お悔やみの書簡を送付した。また、外務省はツイッター上で、「ウィーンで発生した恐ろしい出来事に愕然としている」とコメントし、テロ対策への団結を呼びかけた。また、スロベニアのイスラム団体も、いかなる宗教も殺害や無実の人々が血を流すことを容認していないと述べ、テロ事件を非難した。

4日、政府は、テロ対策のための省庁間タスクフォースが、ウィーンのテロ攻撃後もスロベニア国内のリスクレベルは低いままであると判断した旨述べた。政府は、「脅威の指標は非常に限定的であり、脅威が短期間に実現する可能性は低い」としつつ、テロ攻撃の可能性を排除することはできないと述べ、また、EUにおける最近のテロ攻撃は不法移民に関連していたと付け加えた。また、スロベニアの警察は、ウィーンでの銃撃を受けて警備を強化し、オーストリアや他の近隣諸国の当局と定期的に連絡を取り合っていると述べた。

●三海域協カイニシアティブ基金に出資【6日】

スロベニア投資開発銀行(SID)は、三海域協カイニシアティブ基金に2300万ユーロを段階的に出資する旨を発表した。三海域協カイニシアティブ(3SI)は、EUの東側に位置する三海域(バルト海、アドリア海、黒海)に囲まれた地域のエネルギー、運輸、通信等の分野における協力推進を目指したスロベニアを含む12カ国による取組で、同3SI基金は、その具体的なインフラ案件を実施するためのもの。スヴィランSID代表によれば、現在、利用可能な3SI基金は総額8億ユーロであり、最終的な目標額は30~40億ユーロ。また、同SID代表は、スロベニアにおいてはコペル=ディヴァチャ間第2鉄道路線建設計画やハンガリーとのガスリンク建設が実施案件の候補として挙がっており、同基金にSID以外のスロベニア企業や銀行が出資することを期待すると述べた。

●米大統領選への反応【7~8日】

バイデン次期大統領の当選確実の報道を受け、パホル大統領は、7日、「スロベニア共和国を代表して、第46代アメリカ合衆国大統領に選出されたことを心から祝福する。この機会を捉えて、様々な繋がりを通じて育まれてきた良好なスロベニア米国関係に満足の意を表する」と祝辞を述べた。



(Photo: Daniel Novakovic / STA, 2015)

同日、ヤンシャ首相は、ツイッターにて、「興味深い。接戦となった多くの州において異議申し立てが提出されており、裁判所はその判決にかかる検討を開始すらしていない。にもかかわらず、主要メディア(及びその他非公式な組織)は勝者を発表した。これが法の支配というものか」と述べた。また、8日、同首相は、「米国は我々の戦略的パートナーである。私が率いたいずれのスロベニア政府も米国と親密で友好的な関係を築いてきた。それは、米国大統領がどの政党に所属しているかに関わらずである。」と再度ツイートした。

●ヤンシャ首相のベルリン・プロセス首脳会合出席【10日】

ヤンシャ首相は、西バルカン諸国のEU加盟等を推進するベルリン・プロセスのオンライン首脳会合に出席した。同会合では、西バルカン諸国6か国の首脳が、共通地域市場とグリーンアジェンダに関する宣言書に署名し、EU経済及び気候保護基準への協調に対する意欲を表明した。ヤンシャ首相は、ツイッターにおいて、「ベルリン・プロセスにおける前進を歓迎。ただ、率直に言って、効果的な地域協力とEU統合には、全体像をどのように解決するかが重要」とコメントした。共通の地域市場の目標は、人、物、サービス、資本の自由な移動によって地域の国々の市場を結びつけることであり、また、同地域のグリーンアジェンダはEUの取組と一致することが求められる。

●復興基金を巡る動き【12日、18日、19日】

11日にEU理事会及び欧州議会が、新型コロナウイルス対策のための復興基金及び2021~2027年の次期多年度財政枠組(MFF)からなる復興パッケージ総額約1.8兆ユーロに政治合意したことに関し、12日、スロベニア戦略事業・結束担当省は同合意を歓迎した。スロベニアは、復興基金より、補助金約16億ユーロ(グラント)及び融資36億ユーロを受け取る資格があり、パッケージ全体としては、今後複数年にわたり約105億ユーロを受け取る見込み。

他方、18日、ヤンシャ首相は、ミシェル欧州理事会議長等に対して、欧州復興基金の分配において加盟国の「法の支配」の遵守を条件とすることは、本年7月の復興パッケージに関する合意を台無しにするものであるとして批判する旨の書簡を送付した。ヤンシャ首相は、「スロベニアは、法の支配の尊重を支持するがダブルスタンダードは認められない。EUにおいても、独立した判断ではなく政治的動機に基づいたメカニズムは『法の支配』とは呼べない」と述べた。また、19日、ヤンシャ首相は、オンライン欧州理事会に出席し、次期多年度財政枠組み及び復興基金の最終承認に関する交渉に関して、本年7月の合意に相應する最終的な妥協点に到達しなければならない旨を強調した。



(Photo: Tamino Petelinšek/STA)

●外交:ロガル外相、ベルリン外交フォーラムに出席【24日】

ロガル外相は、欧州における協力のあり方を議論するベルリン外交フォーラムに出席した。同フォーラムでは、EU議長国トリオのドイツ、ポルトガル、スロベニアの3か国の外相が参加した。ロガル外相は、EU加盟国官の結束の重要性を強調するとともに、スロベニアのEU議長国期間における優先課題、法の支配等につき説明を行った。また、ロガル外相は、同フォーラムのマーゲンでマース独外相及びサントス・シルヴァ・ポルトガル外相と会談を行った。マース独外相との会談において、ロガル外相は、独はスロベニアの最も重要な貿易国であり、早期に貿易等の規模が回復することを期待すると述べた。また、サントス・シルヴァ・ポルトガル外相との会談では、両外相は両国の良好な関係を確認した。

●シェンゲン圏の将来に係るディベート【30日】

ホイス内相は、欧州委が主催したシェンゲン圏の将来に係るディベートに参加し、シェンゲンゾーンの崩壊は新型コロナウイルスにより始まったものではなく、非効率な移民対策が原因であるとして、シェンゲン国境の維持管理が極めて重要であると指摘した。同大臣は、スロベニアには今年1万4千人を超える不法移民が流入しているとして、隣国クロアチアの管理の甘さを指摘し、域外国境を適切に保護できない場合は欧州国境沿岸警備機関(Frontex)を強制的に派遣することも一案であると述べたほか、スロベニアはクロアチアのシェンゲン協定加盟をブロックすることは望まないと述べた。

●政府、ヒズボラをテロ組織認定【30日】

スロベニア政府は、レバノンを拠点とする組織ヒズボラをテロ組織と認定した。政府は、ヒズボラの活動がグローバルな規模で組織犯罪、テロ活動、準軍事的活動と結びついていると指摘した。EUは2013年にヒズボラの民兵組織「Jihad Council」をテロ組織と認定している一方で、オランダ、独などのEU加盟国の一部はヒズボラの組織全体をテロ認定しており、スロベニアも今回それに倣う形となった。

経済

【経済一般、指標・統計】

●中国との貿易増加【12日】

スロベニア統計局は、「スロベニアの対中貿易と新型コロナウイルス」と題する報告書を発表した。この報告書によれば、スロベニアの対中輸入は2000年以降増加し続けており、2019年時点で、中国はスロベニアの8番目の貿易相手国。スロベニアの(2004

年)EU加盟から2019年末までの期間において、中国からの輸入は7倍となった。2019年における対中輸出は、対中輸入の4分の1。

本年、新型コロナウイルスの発生により、中国政府が制限措置を実施したことで、本年1月～3月期におけるスロベニアの対中輸入は減少したが、4月には2010年以降で最大の輸入額を記録し、本年1月～8月の期間における対中輸入は前年同期比13.8%増加した。本年の対中輸入の伸びは、主に防護用品及び医療用品の輸入によるもの。他方、対中輸出については、新型コロナウイルスによる影響はあまり見られず、本年1月～8月の期間における対中輸出は前年同期比3.5%増加した。

●2021年～22年予算の可決【19日】

国民議会(下院)は2021年～22年補正予算案を可決した。同予算案は、新型コロナウイルスの影響により、いずれの年も赤字予算となっている。2021年の歳入は107億2千万ユーロ(当初予算より3.5%減)、歳出は134億7千万ユーロ(当初予算より28%増)、2022年の歳入は110億1千万ユーロ、歳出は126億ユーロ。シルツェル財務大臣によると本予算で債務は増加するが、スロベニアは依然としてEU平均よりも債務率は低い。また、同大臣は現在、新型コロナウイルスの影響で落ち込んでいる各種経済指標について、2021年に改善し、2022年には2019年時点の水準に戻ることを期待すると述べた。

●新型コロナ経済対策第6弾の可決【25日】

国民議会(下院)は、新型コロナウイルスの社会経済への影響緩和策の第6弾となる「コロナ・パッケージ」法案を賛成51票で可決した。総額10億ユーロの同パッケージは、これまで実施してきた雇用維持、企業融資等の支援策の期間を延長するほか、売上げ高が一定程度減少した企業を対象に固定経費に対する補助金を支出するなど、新たな施策も含む。

●2020年第3四半期の失業率は5.1%【27日】

スロベニア統計局の最新の労働力調査によれば、本年第3四半期の失業者数は53,000人で、失業率は前四半期と同様、前年同期比0.4ポイント増の5.1%を記録した。男女別の失業率は、男性が4.4%、女性が5.9%。また、第3四半期の失業者の内、前四半期に失業者だった者は56%、被雇用者は20%、非活動者は24%であった。

【企業、産業の動向】

●テラン・ワイン訴訟、スロベニアは異議申立てなし【16日】

検事総長事務所によれば、スロベニアは、クロアチアのワイン生産者がスロベニアによって保護されている赤ワインの銘柄である「テラン」をワインラベルに使用することに関し、これを認めるEU一般裁判所の決定に異議申立てをしないことを決定した。スロベニアは、本件に関し、クロアチア側の主張を認める2017年5月の欧州委員会委任規則を無効にすべきとして、EU一般裁判所に提訴したが、本年10月、同裁判所はこれを棄却した。



(photo: <https://vinakras.si/>)

●マリボル空港、スマートロジセンターへ【18日】

ヴルトヴェツ・インフラ大臣は、国民議会において、しばらくの間未稼働であったマリボル空港をスマートハブに変える計画に関する新しいビジョンを提示した。同大臣は、本件につき、現所在地元の市長と協力しており、潜在的な投資家と協議中であると述べた。同大臣によれば、400ヘクタールの土地に、スロベニアで最大の近代的なロジスティックセンターを建設し、同センターがコペル港にとって重要な内陸地のハブ倉庫としても機能する計画。ヴルトヴェツ大臣はまた、2か国から投資の提案を受けているが、慎重な検討が必要であると述べた。同空港では、過去に中国の投資家が空港開発のための計画を立てていたが、その後撤回した経緯がある。

●政府、航空会社8社に補助金【25日】

スロベニア経済開発・技術省は、スロベニア発着便の就航支援のために、トルコ航空、スイス航空、セルビア航空、モンテネグロ航空、ルフトハンザ、エア・フランス、ウィズエア及びLOTポーランド航空の8社を対象として補助金を支出する旨発表した。同補助金スキームの第一弾では約98万ユーロが支出される。同補助金を受けるには、2021年サマーシーズン(3月28日～10月30日)の間、スロベニア発着の定期便を少なくとも週2回就航することが条件となる。

●政府、リュブリャナ旅客ターミナルに係るMOU署名を承認【26日】

政府は、リュブリャナ鉄道駅のターミナル整備事業に関するMOUの署名を決定した。署名者となるのは、政府、国営スロベニア鉄道及び同子会社スロベニア鉄道インフラ社、リュブリャナ市、そしてハンガリーのOTP銀行系列のメンドタ・インヴェスト社。プロジェクト総額は約3億5千万ユーロで、建設は2022年に開始される予定。同プロジェクトでは、官側が鉄道中央駅を含む鉄道インフラの改修、新たな長距離バス駅設置、駐車場建設を行い、民側でオフィスビル、宿泊施設及び商業施設を含めた複合施設を整備する。



(Photo: Peter Černuta/STA)

●ゴレニェ社、雇用拡大【26日】

中国ハイセンス社が所有する家電大手ゴレニェ社は、8月中旬以降、約800名を新規雇用し、さらに年末までに300人を新たに雇用予定であると述べた。同社は、本年8月、売上が前年比約30%増加したため、臨時職員を含め240名を雇用した旨述べていた。また、来年1月には、新たなテレビ生産ラインの操業開始を予定しており、同生産ラインにおいて熟練工を含め約400名を雇用予定。

防衛・治安

●国防費増額にかかる法案可決【20日】

国民議会(下院)において、2021年～26年のスロベニア国防費の増額に係る法案が、賛成48票で可決された(11月27日公布、12月12日発効予定)。トニン国防大臣は、国内の安全及び外国に派遣されたスロベニア軍兵士の安全確保に資する同法律の重要性が認識されたことは喜ばしい旨満足の意を表した。

具体的な資金使途は、戦闘車両に4億800万、軍用機に1億2,800万、輸送車両、ロジスティクス及び医療機器に計6,500万、ミサイルシステムに6,500万、通信情報システムとサイバー防衛に4,000万、インフラ整備に4,000万、歩兵兵器及び個人用装備に3,400万ユーロとする。また、これらの車両・機材

には、自然災害における救助・輸送、山岳救助、他の国家機関への支援の場合にも使用できるように、デュアルユースのものが購入される。この法律により、国防省は複数年にまたがる投資契約の締結が可能となる。

●スロベニア軍と警察との間で国境警備に関する協力文書に署名【25日】

グラヴァシュ・スロベニア軍参謀総長とユリッチ警察庁長官は、国境警備及び不法移民対策に関する協力文書に署名した。同文書では、警察が国境警備にかかる活動の指揮を担い、共同パトロールでは、警察官が手順を主導する一方で、兵士は軍司令官の命令を受けることとなる等、各機関が実施する業務が記載されている。警察当局によれば、2015年にスロベニアが移民の大規模流入に直面して以来、警察と軍は国境警備において良好な協力関係を築いてきており、今回の文書は新たな現状に沿って具体的な職務分担等を明記した。

なお、26日に行われた国民議会防衛委員会において、政府による軍への警察的権限付与の提案は否決された。同提案は、現場において、警告や移動にかかる一時的制限、群衆の制御等に関し、軍がより独立的に活動を行うことを可能とすることを目的としていたが、野党側はその必要性を否定した。

新型コロナウイルス関連情報

●新型コロナウイルスの感染状況【30日】

11月30日時点において、スロベニア国内で新型コロナウイルスへの感染が確認されている人数は累計75,637名で、死者は計1,435名となっている。スロベニア国立公衆衛生研究所が発表している30日時点での地域別感染者は以下となっている。

地域	感染者数
スロベニア中心部	19,724
ドレンスカ・ベラクライナ地方	5,024
サヴィンスカ地方	10,184
ポドラウスカ地方	11,215
ゴレンスカ地方	10,165
ポムルスカ地方	5,621
オバルノ・クラシュカ地方	1,963
ゴリシュカ地方	2,653
コロシュカ地方	3,360
プリモルスコ・ノトランスカ地方	1,433
ポサウスカ地方	2,139
ザサウスカ地方	1,931
その他調査中	225

●移動、集会及び店舗営業にかかる国内措置強化【13日】

スロベニア政府は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、移動、集会及び店舗営業にかかる国内措置を発表した。

(1)集会制限

政府は、集会にかかる政令を改定した。これにより、これまで公共の場における集まり・集会にかかる人数制限が上限6名まで可能とされていたが、13日(金)より、家族等生計を共にする者との集まり・集会以外は、レセプションや結婚式等を含め、全て不可となった。

(2)店舗等の営業制限

政府は、店舗営業制限にかかる政令を改定した。16日(月)より、生活等に最低限必要な店舗以外は閉鎖される。営業が許可される店舗・サービス等は以下のとおり。

- 農産物の販売を含む、主に食品、パーソナルケア、クリーニング用品を販売する店舗(ただし、これらの店舗での衣料品、靴、技術用品の販売を除く)
 - 薬局
 - 医療および整形外科関連の店舗
 - 市場
 - 農業に関する店舗
 - ガソリンスタンド
 - 銀行および保険サービス
 - 配達サービス
 - 自動車と自転車の修理とメンテナンスのためのサービス(タイヤ修理、自動車整備、車体塗装、車体および自転車修理店)
 - 煙突掃除
 - 建設現場
 - 新聞や雑誌販売のための新聞販売店やキオスク
 - 午前6時から午後9時までの、消費者との接触が最小限に抑えられる収集ポイントでの商品または食品の引渡し(テイクアウト等)
 - 安全と健康を確保するための緊急サービス
- (3)このほか、幼稚園及び学校も引き続き閉鎖となる。

●レッド国からの入国制限強化【13日】

政府は、レッド国からの入国に際して自主隔離が不要となる例外事項の範囲を縮小した。

(1)11月16日(月)より、レッド国から入国する者は、入国後に検査を行い、新型コロナウイルスの陰性証明を得ることができれば、自主隔離を早期に終了することができるが、検査を受けられるのは、最低5日間の自主隔離後となる。

(2)下記の条件が自主隔離免除要項から変更・削除された。

ア 越境労働者(毎日)の移動に関して、国境を越えてから14時間以内に戻ることを条件として追加。
 イ 延期が困難な緊急を要する用事のための入国は、私的な用事は対象外となり、また、緊急のビジネスに関する用事については、12時間以内に出国する者に限る。
 ウ 近親者との連絡を維持するため入国し72時間以内に出国する者に関し、自主隔離無しに入国できるのは、EU及びシェンゲン圏内居住者に限る。
 エ スロベニア国籍者及びスロベニアに在住する外国人で、隣国に不動産、(宿泊が可能な)船舶、またはオートキャンプで利用する土地の使用権、リース権、レンタル権等を有し、そのことを証明できる者かつ48時間以内にスロベニアに帰国する者は対象外となる。
 オ 隣国に農業用地を所有またはリースしているスロベニア国籍者及びスロベニアに在住する外国人の農作物の収穫を支援することを証明できる者で、24時間以内にスロベニアに帰国する者は対象外となる。



(photo: UKC Ljubljana)

●公共交通の停止等の国内制限措置強化【16日】

スロベニア政府は国内公共交通機関の停止を含む各制限措置を発表したところ、概要以下のとおり。なお、下記措置はいずれも11月16日より発効。

(1)国内公共交通機関の停止

タクシーを除く国内公共交通機関が停止される。私用車を利用する場合、同じ職場の職員は1台につき最大6名まで同乗可能。なお、国際旅客航空便は引き続き運航される。

(2)文化施設の閉鎖

図書館を除く全ての文化施設が閉鎖される。

(3)自動車教習所の閉鎖

—自動車教習所に関連する活動が禁止される。
 —11月16日から11月30日の間に期限が切れる運転免許証については、2021年1月31日まで有効期間が延長される。

●感染症流行宣言の延長【17日】

スロベニア政府は、新たな政令を公布し、10月19日に発効した全国を対象とした新型コロナウイルス感染症の流行宣言を、12月17日まで30日間延長した。

当国政府は、11月16日のプレスリリースにおいて、当国が新型コロナウイルス感染症の第2波に直面する中、国内全土において急速な感染拡大が続いているとして、流行宣言を延長せざるを得ない状況にあると説明した。

●国内措置の延長【26日】

スロベニア政府は、国内制限措置の延長について発表した。

(1)以下の政令について、7日間延長される。

・消費者への商品販売及びサービス提供の一時的な禁止に関する政令

—生活等に最低限必要な店舗以外は閉鎖

—午前6時～午後9時の間の集積地点における飲食物及び物品の引渡し(テイクアウト等)、また、飲食物及び物品のデリバリー・遠隔販売等は可能

—宿泊施設の閉鎖

・人々の移動と集会・集まりの一時的な制限に関する政令

—家族等生計を共にする者との集まり・集会以外は、レセプションや結婚式等を含め、全て不可

—夜間(午後9時～午前6時)の移動禁止(緊急の活動等、例外あり)

—地方自治体間の移動禁止(例外あり)

・運転及び車両分野における商品販売及びサービス提供の一時的な禁止に関する政令

—自動車運転教習所を含む、免許証に関する行政サービスの制限

—2020年11月16日から同年12月17日の間に失効する運転免許証の有効期限を、2021年2月28日まで延長する。

・映画館を含む文化的サービスの提供の一時的な禁止に関する政令

—図書館以外の文化施設の閉鎖

・国境における新型コロナウイルスの蔓延防止措置に関する政令

—各国の感染状況によるグリーン、オレンジ、レッド国のリストの策定

—レッド国からの入国する場合、10日間の自主隔離または陰性証明の提示が必要(例外事項あり)

—規定された国境地点以外における入国の禁止(国境付近の地域住民等の例外あり)

・大学を含む教育機関での集会・集まりの一時的な禁止する政令

—幼稚園、小中学校、大学等を含む教育機関の閉鎖及びリモート学習への切替(緊急を要する保育、学生寮の使用等の例外あり)

(2)以下の政令等について、14日間延長される。

・新型コロナウイルスの感染及び蔓延リスクを減らすための一時的な措置に関する政令

—屋外を含む公共の場でのマスク着用及び手指の消毒の義務

・国内の旅客輸送の一時的な制限及び輸送方法に関する政令

—国内における公共交通機関を含む旅客輸送の停止(タクシーは可)

・スポーツ活動の一時的な制限に関する政令

—スポーツ施設の閉鎖(例外は、登録された選手、プロ選手等による利用)

—家族または同一世帯のものによる6名以下のスポーツ活動は可(感染予防策は必要)



(photo: スロベニア・オリンピック委員会)

社会・文化・スポーツ

●アナ・ベラツ選手、スロベニアのゴルフで史上最高の成績を達成【2日】

スロベニア人ゴルフプレーヤーのアナ・ベラツ選手(23歳)は、10月31日に米国で行われた、女性のカロライナ・クラシック・ゴルフトーナメントで優勝した。これはスロベニアのゴルフにとってこれまでで最高の成績となった。

●秋冬のビタミンD欠乏症への警告【2日】

国立栄養研究所は、「世界ビタミンDの日」に寄せて、スロベニア人成人のうち80%が秋冬にビタミンDが不足していると警鐘を鳴らした。同研究所のプラウスト氏は、通常、ビタミンDは日光を浴びることにより皮膚で十分な量が生成されるが、秋冬にはスロベニア国内での日照量が低下することから魚や卵などの食品からの摂取が非常に重要になると述べた。また、成人には少なくとも20mg/日が必要だが、スロベニア人は平均して3~4mg/日のビタミンDを摂取しており、また最新の調査結果よれば、本年は、新型コロナの影響により屋外での行動も制限され、更に摂取量が少なくなっていることが判明した。ビタミンD欠乏は、呼吸器官を標的とする感染症と闘う免疫システムに影響を及ぼすことから、十分なビタミンDの摂取が新型コロナと闘う上でも重要である。

●ガブロヴェツ・スロベニアオリンピック委員会会長の叙勲【4日】

スロベニア・オリンピック委員会・スポーツ連盟協会は、ガブロヴェツ同委員会会長が日本政府による2020年秋の外国人叙勲受賞者の一人となった旨を発表した。2020年11月3日、日本政府は、2020年秋の外国人叙勲受賞者を発表し、この中でボグダン・ガブロヴェツ氏が叙勲されることが公表された。同氏は、スロベニアにおける柔道の普及及び日本・スロベニア間のスポーツ交流に寄与した功績が認められ、本年、旭日小綬章を受章することとなった。

●米Amazon、クリスマス広告を撮影【5日】

米国 Amazon は、リュブリャナ周辺のいくつかのロケーションで撮影されたクリスマスTV広告を発表した。2分間のこの広告は、トルノヴォ地区、マイクロシチェヴァ通り、リュブリャナの旧発電所で撮影された。「ショー・マスト・ゴー・オン」と題されたこの広告は、クイーンの曲の新しいアレンジに設定されており、新型コロナ流行の中で最善を尽くす若いバレエダンサーの物語になっている。英国の広告代理店 Lucky Generals が撮影したこの広告は、以下のリンクから視聴可能。

<https://www.youtube.com/watch?v=m4ATNalkbGU>



(photo: youtube 動画 より)

●自転車: ブエルタ・ア・エスパーニャでログリッチ選手総合2連覇【8日】

スロベニアのログリッチ選手は、11月8日にスペインで開催されたブエルタ・ア・エスパーニャの最終日第18ステージを終え、2019年に獲得した大会総合優勝のタイトルを守りきった。新型コロナウイルス感染症のパンデミックで中断し、8月に再開したUCIワールドツアーは、これで全ての日程を終了した。2020年シーズンのUCIワールドツアーは全36戦が行われる予定だったが、最終的に22レースが開催された。

●フリーダイビングの世界記録を更新【8日】

スロベニアのフリーダイバーであるアレнка・アルトニック選手は、2019年に打ち立てた新記録113メートルに続き、エジプトのシャルムエルシェイクで開催さ

れたブルーウィーク大会にて、モノフィンで114メートルまでダイビングし、世界記録を更新した。潜水時間は3分41秒だった。



(photo: www.facebook.com/alenkaartnikfreediving)

●クライミング: イェルネイ・クルーダー選手、欧州タイトル獲得【23日】

スロベニアのスポーツクライマーであるイェルネイ・クルーダー選手がモスクワ開催されていた欧州選手権で優勝した。スロベニアはこれまで欧州選手権で既に23個のメダルを獲得しているが、スロベニアの男性クライマーとして欧州タイトルを獲得するのは初めてである。12月5日に30歳になるクルーダー選手は、2014年の世界選手権で銀メダルを獲得し、2018年にはボルダリングワールドカップで総合優勝を果たしている。また、去年は、モスクワで開催されたワールドカップのイベントで優勝している。



(Photo: Anže Malovrh/STA)

スロベニア発見！ 「スロベニア食料デー」10周年

本年10年目を迎える「スロベニア食料デー」は、毎年11月の第3週金曜日とされており、今年は11月20日（金）がこの日にあたりました。この日は、スロベニア全国の幼稚園や学校において、スロベニアの伝統的な朝食が用意され、子供たちは、健康な食生活について学びます。本年は、新型コロナの影響により、学校が閉鎖されリモート学習が行われる中この日を迎えましたため、政府は、家庭や職場などでの朝食の重要性についての啓蒙を呼びかけています。



<スロベニアの伝統的な朝食>

スロベニアの伝統的な朝食には、パン、バター、はちみつ、牛乳、そして、りんごが含まれます。これに、様々な粥、卵、ジャムなどを付け加えることもできます。スロベニアでは、朝食メニューを考える時、多様な食材を使うことと、可能な限り国産の食材を使うことが大切と考えられています。



<スロベニア食料デー>

スロベニア食料デーが制定されたきっかけは、学校や幼稚園での朝食に地元のはちみつを使用してほしいとのスロベニア養蜂家協会による呼び掛けでした。その後、「はちみつを使った朝食(honey breakfast)」プロジェクトは徐々に広まり、朝食を食べることの利点や地元農産物を推進する食料デーへと発展していききました。

<2021年は「欧州美食地域」！>

2021年、スロベニアは、欧州美食地域(European Region of Gastronomy)に指定されています。スロベニアでは、毎年、各地の伝統料理、季節の果物等をテーマにした40件以上の食にかかるイベントが開催され、多くの国内外の観光客で賑わいます。来年、スロベニアの各地方を訪れ、多様な食文化を楽しんでみてはいかがでしょうか。



なお、日本のテレビ番組「大使館・晩餐会」で、ペトリッチ駐日スロベニア大使が作るスロベニアの蕎麦を使った伝統料理、日本茶屋「徳永製茶」に嫁いだ徳永ヴェラさん等が紹介されました！ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=mJaAQMDjaJU>

<https://www.youtube.com/watch?v=Hs3TWInYyJ8>

(出典：スロベニア政府広報室：

<https://www.gov.si/en/news/2020-11-20-traditional-slovenian-breakfast/>)

スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックもご覧ください！

スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせ等の情報を随時発信しております。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

★スロベニア人向けニュースレター「Living in Japan」のご紹介

当館では、毎月スロベニア人向けに日本紹介のニュースレター「Living in Japan (Življenje na Japonskem)」をスロベニア語で発信しています。今年は各都道府県に焦点を当てて、各地の歴史・産業・観光・物産品等を紹介してまいります。このニュースレターは当館のホームページでも公開しておりますので、どうぞご覧ください。

http://www.si.emb-japan.go.jp/Living_in_Japan.html

【領事班からのお知らせ】

●スロベニアに90日以上滞在される方は、在留届を提出してください。

(※インターネットでの提出が便利です。→ <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>)

●新型コロナウイルス:引き続き最新情報を入手し、感染予防に努めてください。

【参考情報】

1. 外務省海外安全ホームページ

本サイトでは、各国・地域での新型コロナウイルスの発生状況、新型コロナウイルス(日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限)等の情報を掲載しています。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

2. たびレジ簡易登録

本サービスは、メールアドレスとメール配信を希望する国・地域を選択するだけで、当該在外公館から領事メールを受信することができます。ぜひご利用下さい。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register>

3. スロベニア国立公衆衛生局は、国内状況や感染予防の方法等について公開しています。

<https://www.nijz.si>

(主にスロベニア語)

4. スロベニア政府が、新型コロナウイルスに関する特設サイトを開設しました。コロナウイルスに関連した保健省の特設電話番号はこちらに掲載されています。

<https://www.gov.si/en/topics/coronavirus-disease-covid-19/>

5. 新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～(首相官邸)

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

6. 新型コロナウイルス感染症に関する情報について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

7. リュブリャナ空港ホームページ

<https://www.fraport-slovenija.si/en/Main>

8. スロベニア政府の下記のツイッターアカウント等で、随時情報発信が行われておりますので、こちらをご確認ください。

- 政府(英語): <https://twitter.com/govslovenia>
- 政府(スロベニア語): <https://twitter.com/vladars>
(英語版と若干内容が異なります。)
- 外務省: <https://twitter.com/mzzrs>
(主にスロベニア語)
- 保健省: <https://twitter.com/minzdravje>
(主にスロベニア語)

【広報文化班からのお知らせ】

●Makkon 2020 に日本人声優の佐々木望さん動画でご出演！

リュブリャナで毎年開催されているアニメ・漫画フェスティバル Makkon に日本から声優の佐々木望さんが動画を寄せてくださいました！本フェスティバルは今年初めてオンラインイベントとして開催されますので、ぜひご視聴ください！

■開催日時: 12月12日(土)16時～20時、13日(日)16時～20時

※佐々木氏のご登壇は12日(土)16時15分頃から30分程度です。

■配信媒体: Twitch https://www.twitch.tv/festival_makkon

※視聴のための登録等は必要ございませんので、時間になりましたら、リンクからご視聴ください。

●最新情報は、当館フェイスブックでチェック！

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia/>